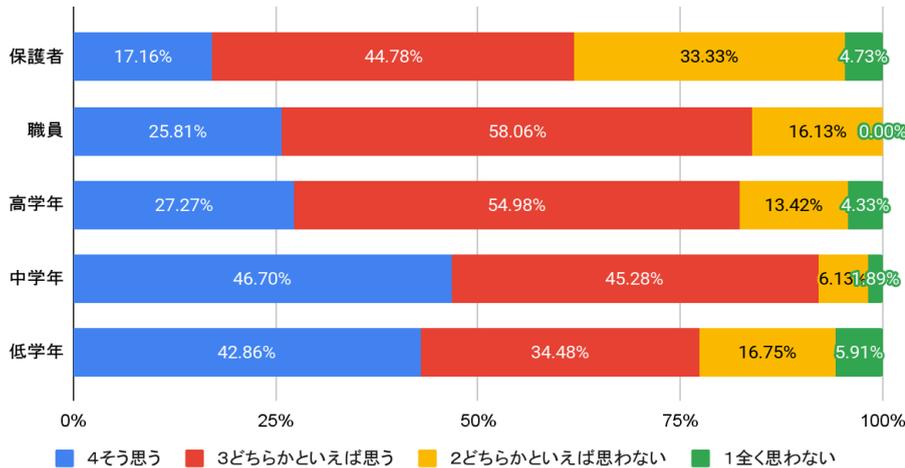


令和6年度 学校評価アンケート結果

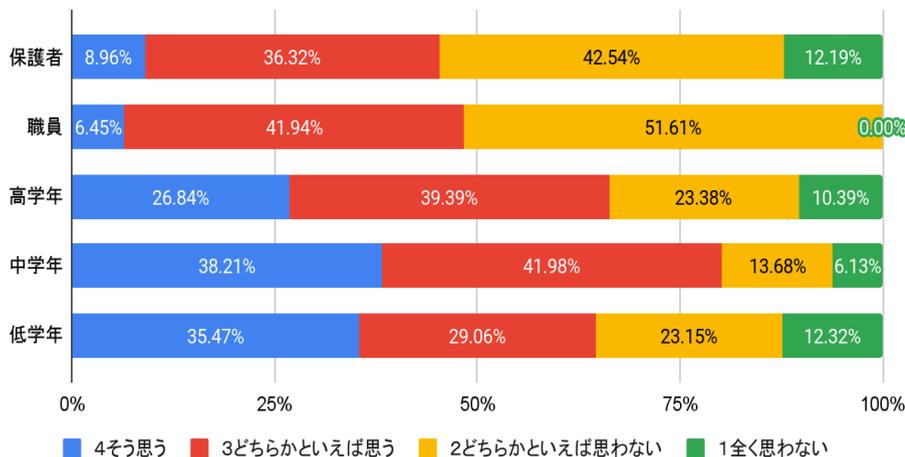
先日は学校評価アンケートにご協力をいただき誠にありがとうございました。いただきましたアンケートは次年度に生かして参りたいと思います。

1 お子さんは自分から進んで学習をすることができる。



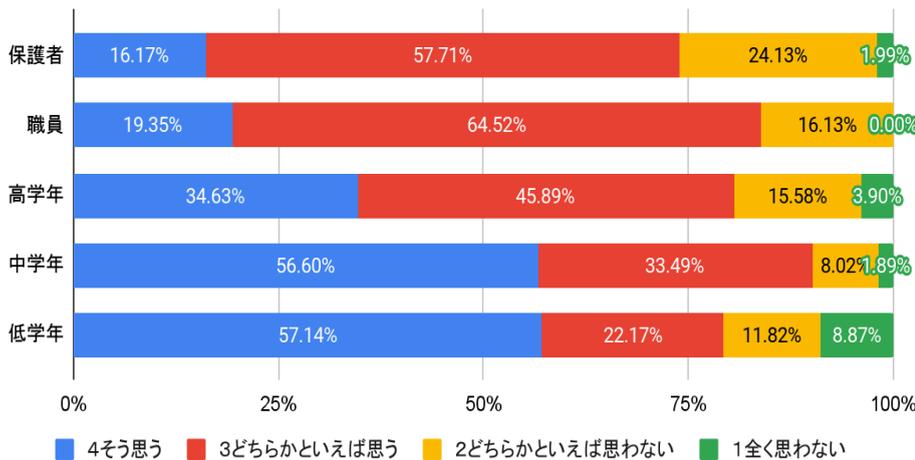
今年度も二者(職員・児童)に肯定的な評価が得られた。子どもたちが自ら考え、主体的に学習を進めていくことを教師が重視し学習を進めたことで、児童の認識も高まり、80%以上の高評価につながったと考えられる。保護者の方との差も見られるため、問2の評価との関連も考え、学校教育を進めていきたい。

2 お子さんは家庭で学習を進める際に計画を立てて行うことができている。



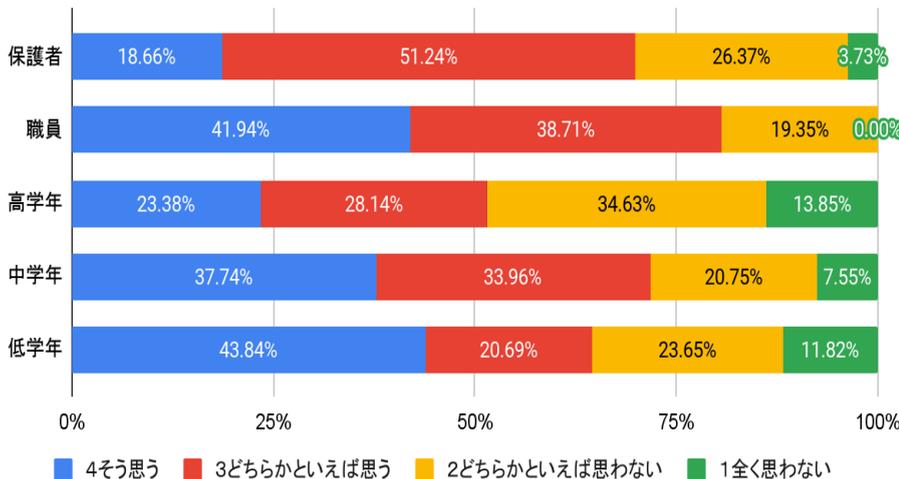
問1の回答評価よりも、三者とも肯定的評価が低い。今年度も学校では、単元のはじめに学習計画を立て、見直しをもって学習を進める形態を重視し学びを進めている。今後も継続して行い、子ども自身の学習を計画的に進められる力が育まれるよう、今後も努めていきたい。

3 お子さんは前に学習したことを次の学習に生かして問題を解くことができる。



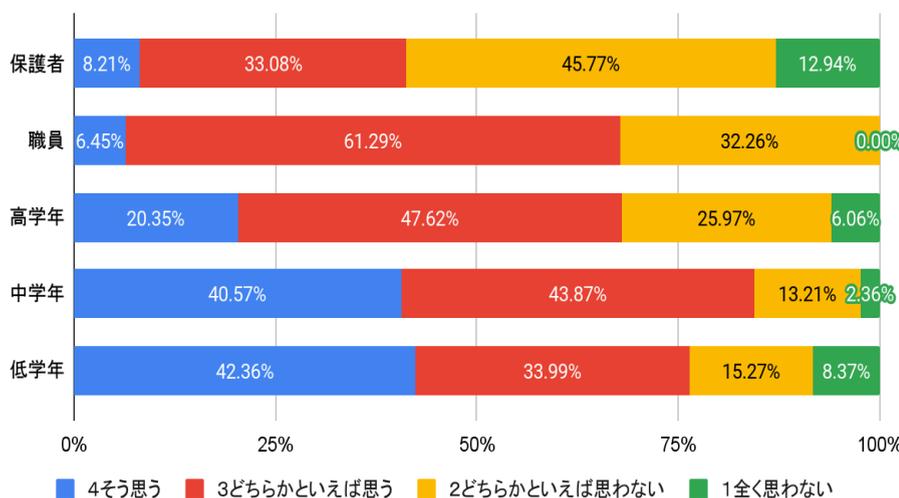
子どもたちの結果から全学年80%以上が学習を生かし課題解決にあたっていることが見て取れる。今後も、子ども主体の学習と基礎基本の定着を関連付けた学びを継続して行っていきたい。

4 お子さんは学習し答えに辿り着いた道筋を家の人にお話することができる。



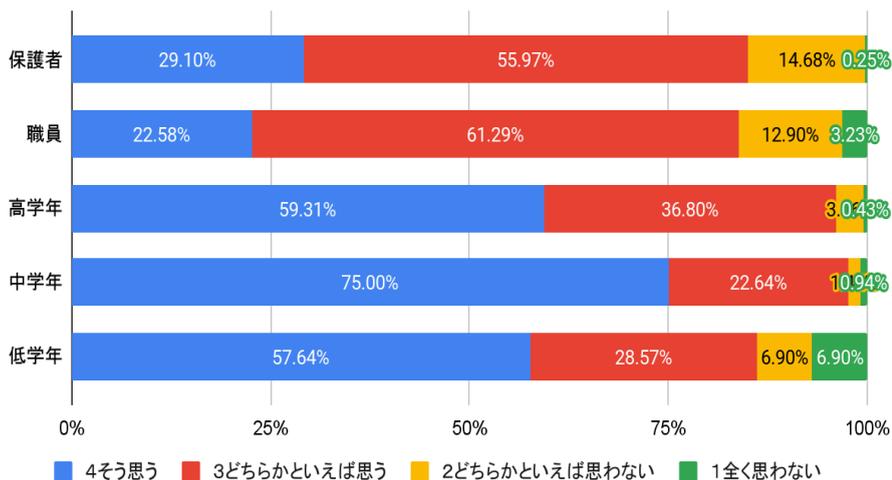
職員の評価に比べ、児童の評価の低さが見られた。子供たちに自分の思いを伝えることへの不安感があるのではないかと考えられる。成功体験が多くあり、傾聴や称賛等によって安心感のある教室で、自分の考えを持ち、自信をもって伝えられる学校生活を送れるように努めていきたい。その経験から伝えることに自信をもてるようにしていきたい。

5 お子さんは感想文や作文をわかりやすく書き表すことができる。



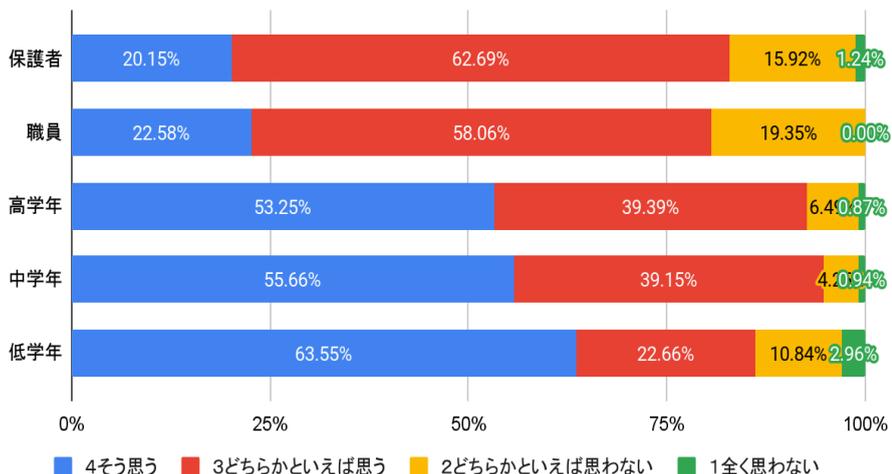
中学年の肯定的評価が大きく向上した。(78%→84%)
書く活動を重視し、表現の場を増やしたことで言語感覚が磨かれ、子どもたちの意識が向上したと考えられる。高学年、低学年でも向上を目指したい。

6 お子さんは相手の立場になって考えることができる。



三者共に80%以上の高評価が得られた。中学年・高学年は95%以上の高評価である。子供自身が経験の中で思いやりの心を育みながら成長していることが感じられる。とても重要な視点であるので、今後も三者の評価が同じになるよう家庭とも連携し取り組んでいきたい。

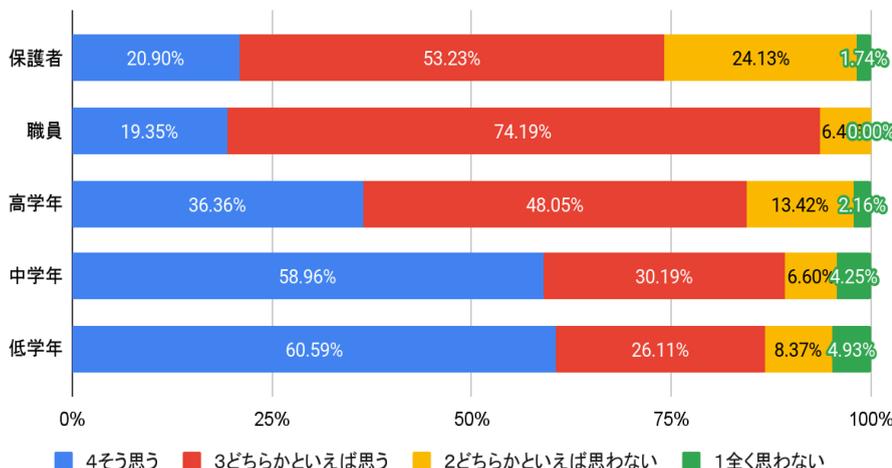
7 お子さんは挨拶や返事等の礼儀が身についている。



三者共に、80%以上の高評価であった。特に、中学年(91%→95%)は昨年度より4%も向上した。

子どもたちが進んで行っている朝の挨拶運動等の成果が現れていると感じる。しかし、今年度も挨拶のない児童も見られる。今後も学校だけでなく、家庭・地域それぞれが意識を高くもち、協力し、声をかけながら実践していきたい。

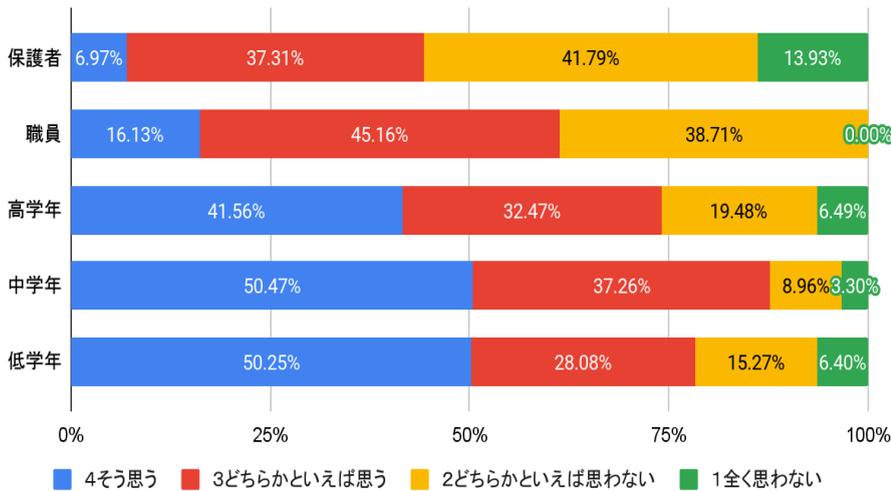
8 お子さんは決めたことを最後まで諦めずに取り組むことができる。



職員は94%の高評価であった。職員の意識の高さから80%以上の子どもたちが継続し、諦めずに取り組む意識が向上したと思われる。

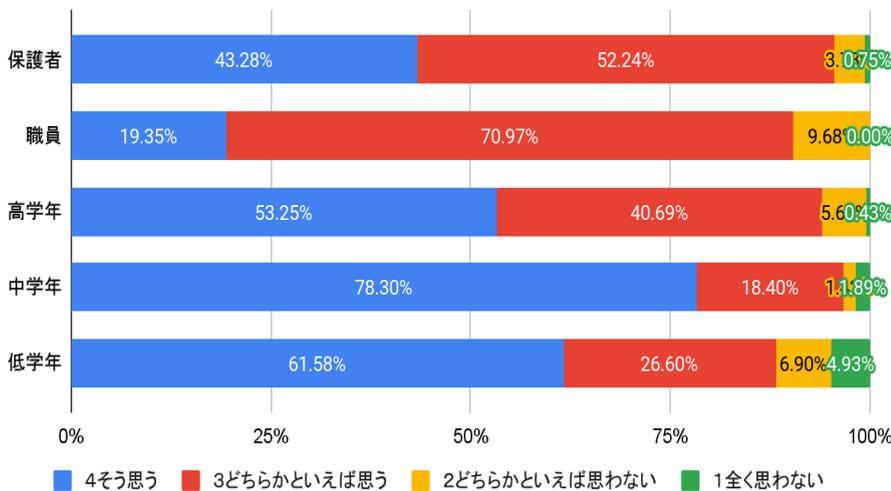
児童の達成感、成就感のある授業づくりを今後も行っていきたい。

9 お子さんは身の回りの整理・整頓をすることができる。



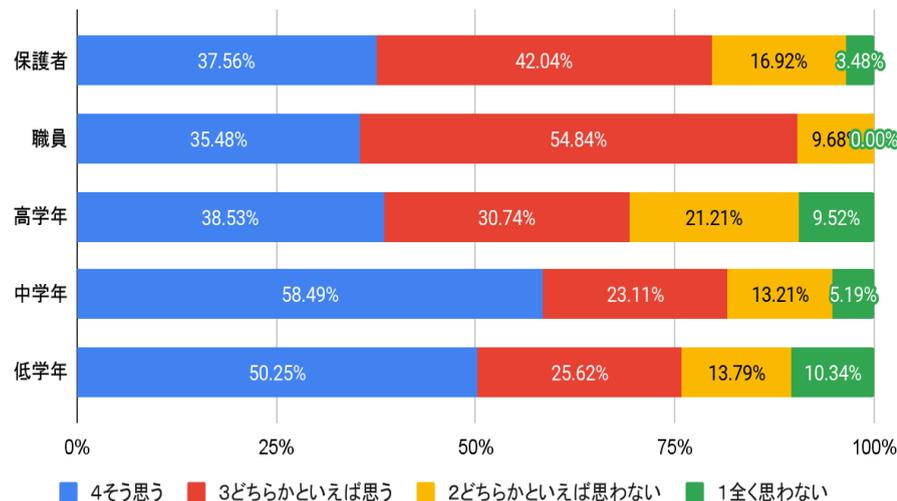
今年度も肯定的意見の保護者・職員の数値と子どもたちの数値の差に開きが見られる。やはり、三者間の評価規準が同じになるよう、家庭・学校での日頃の児童への指導、支援を大切にしていかなければならないと考える。

10 お子さんは交通ルールなどの約束を守って生活することができる。



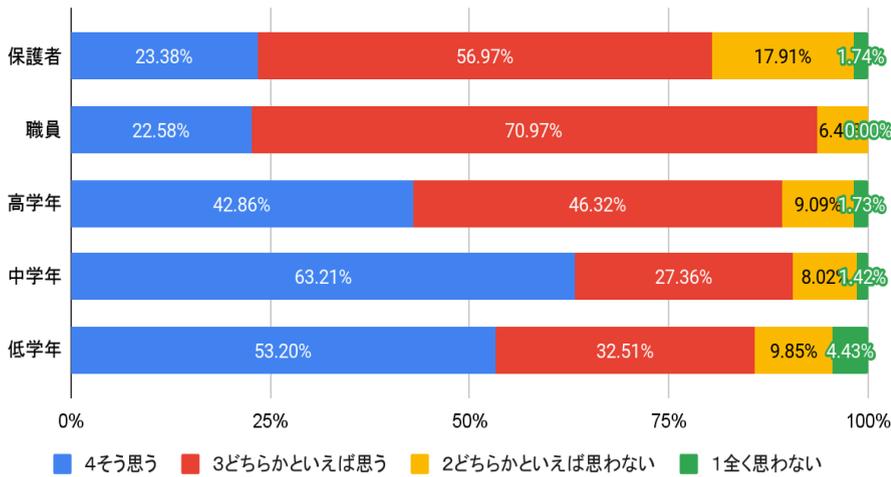
今年度も三者の評価共に90%以上の高い結果が得られた。日々のセーフティーウォッチャ、PTAの見守り活動など交通安全指導の成果である。安全安心な生活のためにも、子ども自身の安全意識、危機意識の向上を目指し、今後も家庭・学校・地域と連携し進めていかなければならないと考える。

11 お子さんは帰ってきてから、その日の学校の様子を話してくれる。



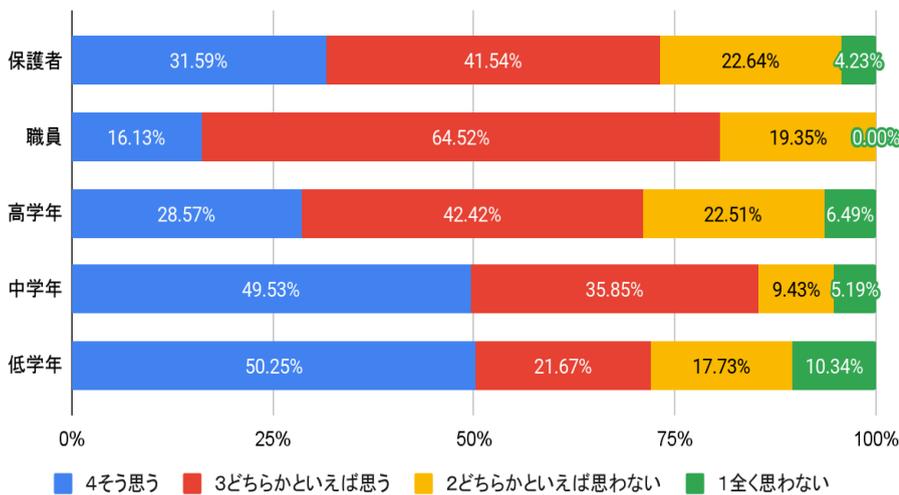
全学年70%に近い子どもたちが肯定的評価であるが、発達段階によって評価に差が見られる。話すことで互いの関係が深まり、子どもたちの自己肯定感の向上にもつながるため家庭、学校で大人が意識高く共感的に耳を傾けて聴く姿勢で接し、子どもたちが安心して話せるように努めたい。

12 お子さんは家庭で約束したことを守ることができていると思う。



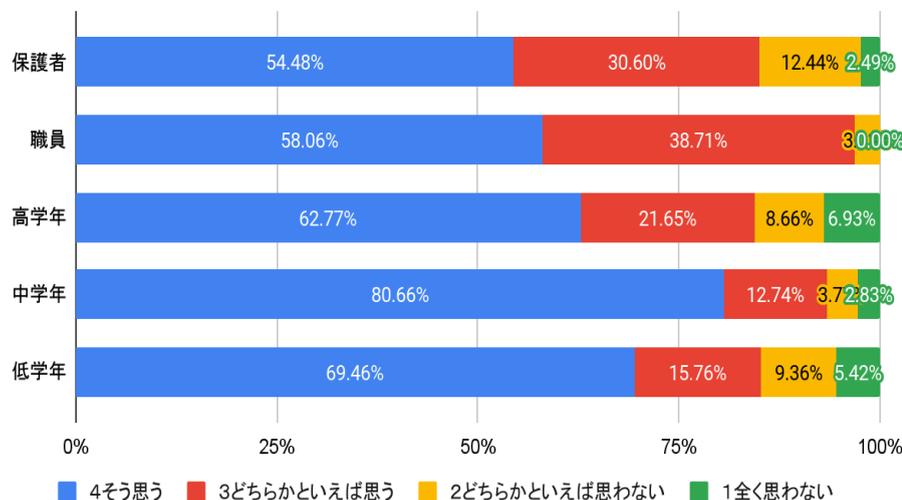
今年度も三者の評価は80%以上の肯定的評価であった。多くの子どもたちが約束を守って生活している事がわかる。しかし、否定的評価にも目を向け、子供自身に約束の意味を考えさせるなどし、子供自身のためにも規範意識の醸成を家庭、地域、学校が連携をし、同じ基準で常に行っていかなければならない。

13 お休みの日でも規則正しい生活を送ることができる。



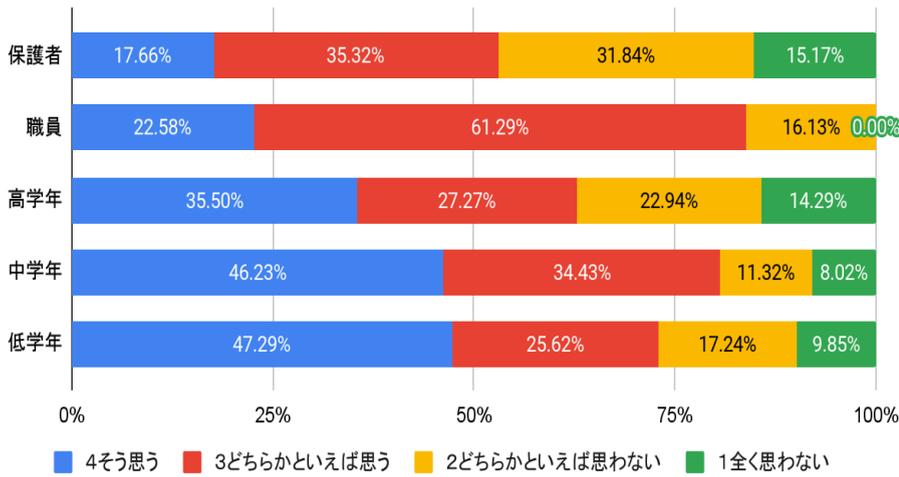
70%以上の子どもたちは家庭生活も規則正しく生活できていると見て取れる。長期休業期間など、お休みは生活も乱れやすくなるため、学校で、家庭で保護者の方と共に計画を立てるなど子供に考えさせながら、自己の生活をコントロールできるよう大人の支援を大切にしていきたい。

14 お子さんは体を動かして遊んだり、体験したりすることが好きだ。



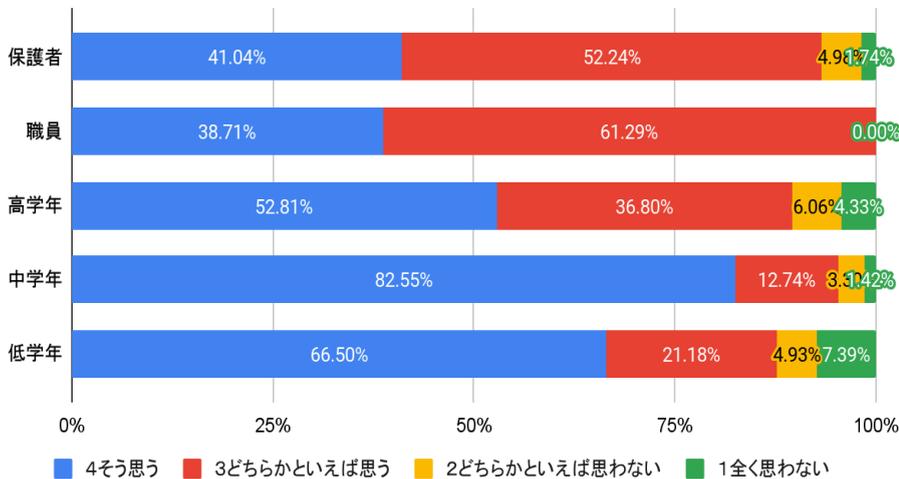
今年度も三者共に85%以上の高評価となった。体育・休み時間などの時間を効果的に活用し、子どもたちの五感を感じながら学んだり、遊んだりといった体験を大切に、子どもたちの体力の向上も目指していきたい。

15 お子さんは学校や習い事の課題以外に、自分で学習をする時間を作っている。



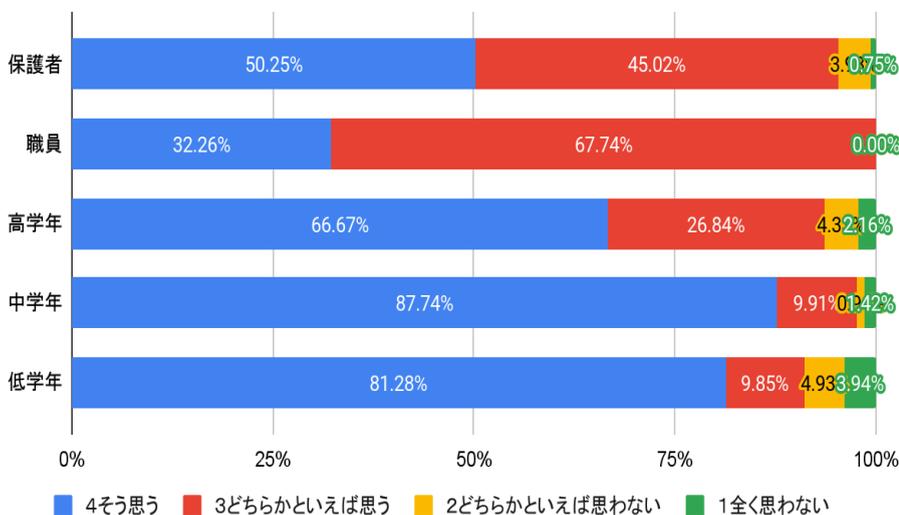
保護者は肯定、否定意見共に50%前後の結果であった。子どもたちの評価も学年によりばらつきがある。学校、家庭、地域での様々な場で、学びの楽しさ、面白さ、喜びを味わえる時間を作り、子どもたち自身の探求力を育てていきたい。

16 担任は相談しやすく、また助力や解決をしてくれる。



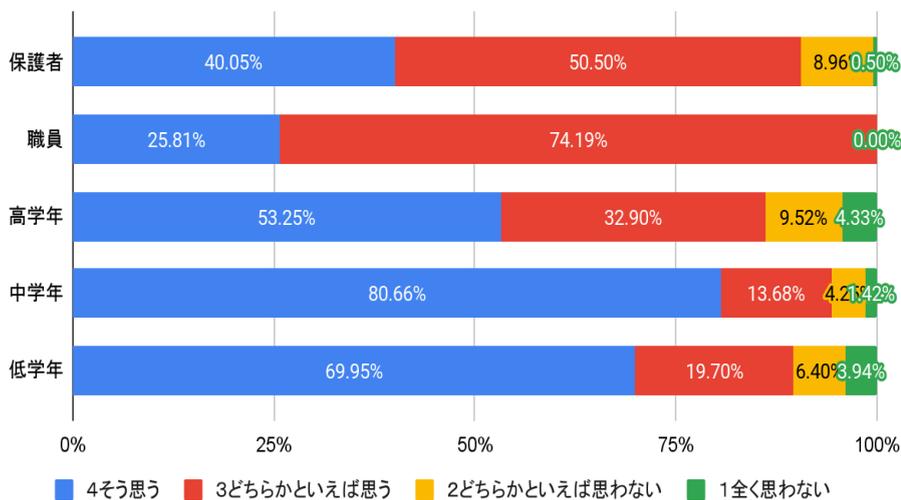
今年度も三者共に90%に近い高評価となった。今後も子どもたち一人一人の気持ちに寄り添い、子ども自身が理解、納得し、最善の行動が選択できるようになるよう、家庭、地域と協力し、指導、支援に当たっていききたい。

17 先生はいつも楽しいクラスになるように努力していると感じる。



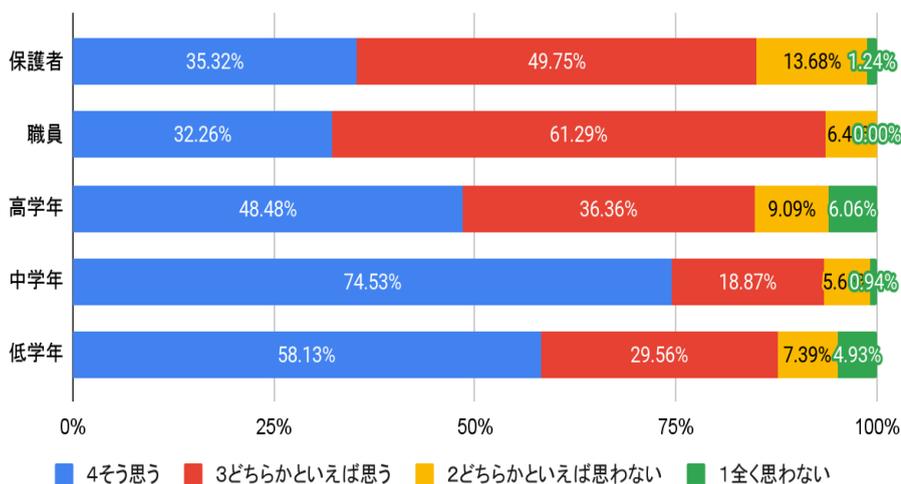
今年度も、三者共に90%以上の肯定的評価が得られた。しかし、否定的評価の子どもたちもいることにも目を向け、一人一人が安心感のある学校となるよう、今後も様々な面から指導、支援を行い、豊かな心とたくましい心の育成を目指していきたいと考える。

18 授業が分かりやすく楽しいようである。



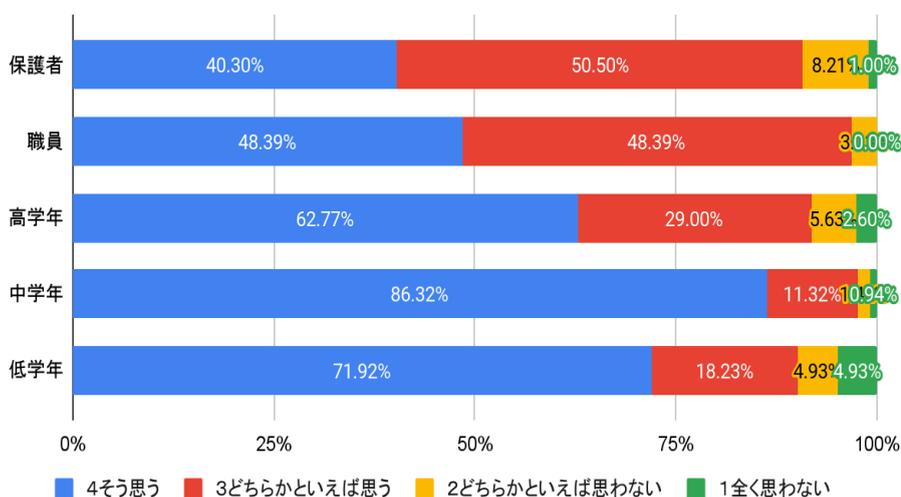
高学年は若干低いですが、今年度も三者共に90%以上の高評価となった。今後も「わかる、できる」といった心情から「楽しい、面白い、もっとやりたい」といった意欲の向上に繋げ、学力の向上にも繋がる授業づくりを職員一同で実践していきたい。また否定的意見にも目を向け、個に応じた指導にも努めていきたい。

19 担任はお子さんと休み時間などに一緒に遊んだり、お子さんの話を聞いてくれるようだ。



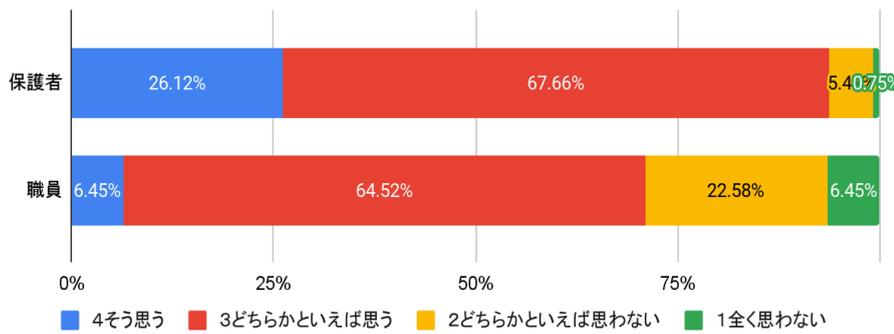
三者共に85%以上の肯定的評価であった。大人も子供も時間的、心理的なゆとりが確保できる中で、安心して活動できるような学校体制を整えていきたい。

20 お子さんは担任の話を理解している。



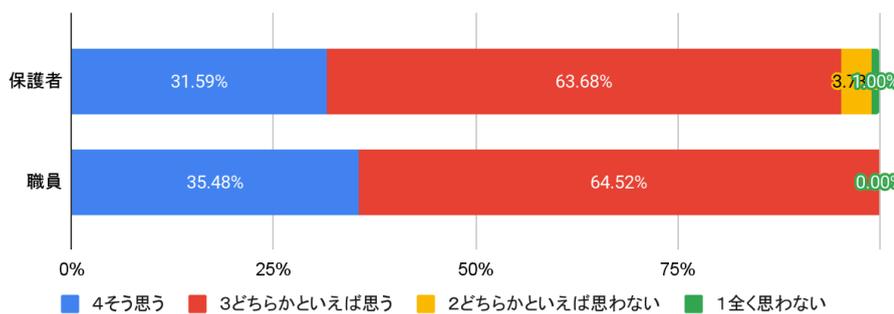
三者共に90%以上の高評価となった。引き続き、子どもたちの発達段階や個に応じてなど、子どもたちの実態に合わせ、わかりやすい指導、支援を意識していきたい。

21 学校は、学習するための用具や施設などが充実していると思いますか？



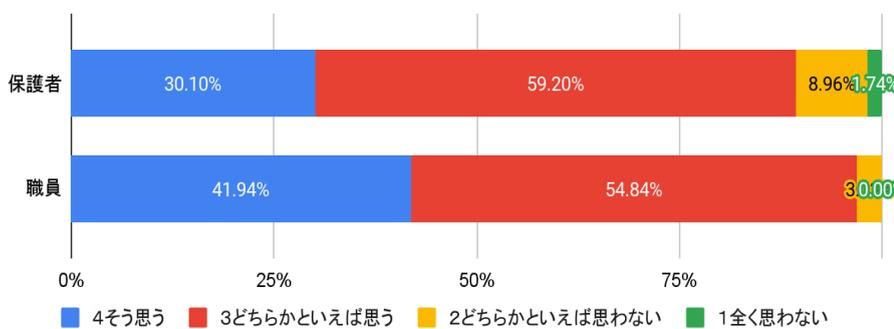
ギガタブ活用も4年目となり、子ども自身が自ら手にとって学ぶ姿も多く見られる。また、コンピュータ室の名称が「探求ラボ室」となりリニューアルされたため、引き続き、ICT機器の活用に取り組んでいきたい。施設の老朽化や学習用具の劣化がみられるため、計画的に購入していきたい。

22 学校は校舎内外の整備や安全確保に努めていると思いますか？



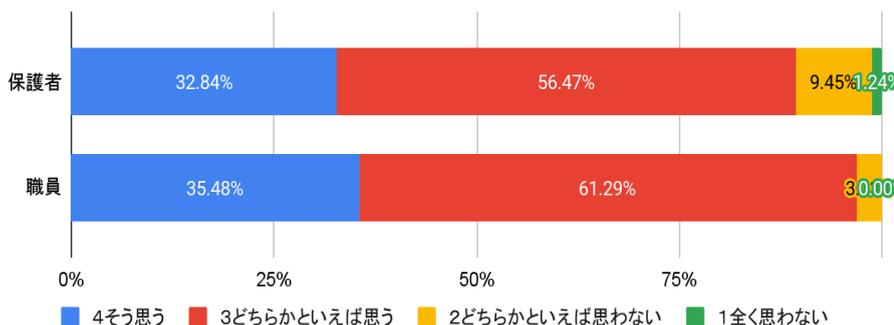
トイレ改修工事により、新しく大変きれいなトイレとなった。子どもたちも気持ちよく使っている。
校舎の老朽化は否めないが、職員による毎月の安全点検、清掃活動をしっかりと行い、迅速な修繕と施設の安全の確保、美化衛生を行っていきたい。

23 学校は相談しやすい雰囲気がありますか？



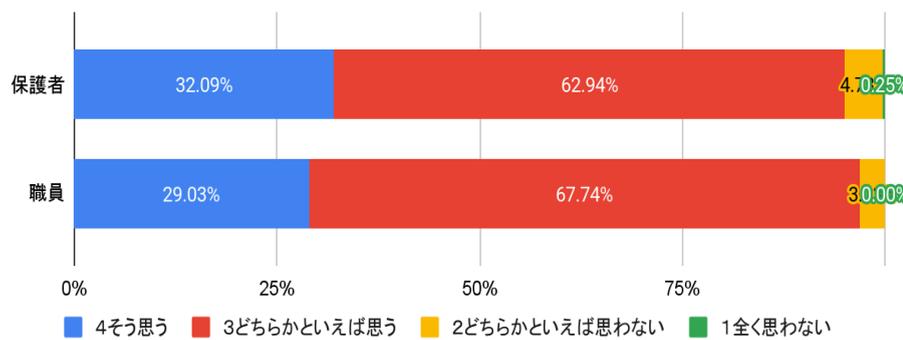
職員は、97%と肯定的な評価であった。学校での様子を保護者の方に伝えるよう職員の意識向上が感じられる。子どもたち一人一人が大切な存在である。その子どもたちが安心して学校で過ごせるよう、保護者と連携し、歩調を合わせ子どもたちにとって安全、安心な学校となるよう努めていきたいと考える。

24 学校からのお便りや連絡、緊急連絡メールなどは分かりやすいですか？



二者共に、90%前後の評価が得られた。今年度よりすぐるでの配信も多くある。保護者、地域との連携が重要とるため、引き続き、わかりやすく且つ迅速な発信に努めていきたいと考える。

25 学校行事が行われる時期は、適当な時期に設定されていますか？



保護者の方の95%の高評価が得られた。学校から行事予定を早めに伝えるようにし、保護者の方の来校の予定を組みやすくし、学校に足を運ぶ機会が得られるようにし、子どもたちの学校での活動の様子を伝えていきたい。